

< 介護・医療連携推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

| | | | |
|-----|--------------------------------------|------|---------------|
| 法人名 | 株式会社 創生事業団 | 事業所名 | グッドタイムサポート・長岡 |
| 所在地 | (〒940 - 0012) 新潟県長岡市下々条2丁目1373-1 | | |

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24時間365日営業。
その人、その人に合ったサービスの提供を行い、安心した生活が送れるよう支援している。

【自己評価の実施概要】

| | | | |
|----------------|--------------------|------------------|-----------------|
| 事業所自己評価 実施日 | 西暦 2024 年 9 月 30 日 | 従業者等自己評価 実施人数 | (6) 人 ※管理者を含む |
|----------------|--------------------|------------------|-----------------|

【運営推進会議における評価の実施概要】

| | | | |
|---------|--|----------|---------------------|
| 実施日 | 西暦 2025 年 2 月 19 日 | 出席人数(合計) | (12) 人 ※自事業所職員を含む |
| 出席者(内訳) | <input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 (1) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (2) 人 <input type="checkbox"/> その他 (2) 人 | | |

■ 前回の改善計画の進捗評価

| 項目 | 前回の改善計画 | 実施した具体的な取組 | 進捗評価 |
|---------------------------|---|---|--|
| I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10) | 研修参加後、感想などを聞いたり振り返りの時間をもち、今後の研修や個々のレベルアップに繋げていく。 | ・研修後に各自レポートを提出することで振り返りの時間をもち、感想や意見が出しやすくすることで、個々のレベルアップにも繋がるよう努めた。 | ・振り返りの時間をもつことで、様々な意見があり、それを知ることが出来た。積極的に意見を出すことで、向上心を高めていけるよう今後も続けていきたい。 |
| II. サービス提供等の評価 | 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21) | ・利用者の様子や状態の変化に気付いた場合、職員間で報告、確認、見直しを行い、より良いサービス提供ができるよう努めた。 | ・職員間で状態をしっかりと把握し、確認、見直しを行うことで、利用者の状態に合ったサービス提供に繋がるよう提案することができた。 |
| | 2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27) | ・多職種との情報の共有を怠らず、介護職としての意見をしっかりと伝えるよう心掛けた。 | ・多職種との情報の共有はしっかりと出来た。意見を出し合うことで積極的に連携していけるよう今後も努めていきたい。 |
| | 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32) | ・地域に向けての PR を職員全体で考えていく。 | ・話し合いを行い、地域に必要なサービスであることを再確認することができたが、人員不足の為施設内でのサービスに留まり、地域への PR はできなかった。 |
| III. 結果評価 (評価項目 33～34) | 介護職としての専門的な意見をもとに利用者が生きがいを感じられるような援助が出来るよう計画を立てる。 | ・身近に接することの多い介護職として積極的に意見を出していく事を心掛け、計画を立てるよう努めた。 | ・介護職としてもっと積極的に意見を出していく事が必要。利用者が生きがいを感じられる様な援助ができる計画を立てられるよう努力することができた。 |

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

| 項目 | 評価結果 | 改善計画 | |
|---------------------------|--|--|--|
| I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10) | <ul style="list-style-type: none"> ・研修後にレポートを提出することで、各自が振り返りの時間を持ち、また、そこから意見を出すことで、意識向上に繋がった。 ・職員同士で意見を出し合うことで、全体のケアの向上に繋がるよう学ぶことが出来た。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の連携を密にし、積極的に意見を出し合い、全体のケアの向上に繋がるよう努めていく。 ・災害時の対応や感染症対応時、速やかに行動できるよう訓練を通して再確認していく。 | |
| II. サービス提供等の評価 | 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21) | <ul style="list-style-type: none"> ・職員間で利用者の状態を把握し、確認、見直しを行い、状態に合ったサービス提供に繋がるよう提案することが出来た。 ・連絡ノートを活用し、細かな状態の変化など、職員間で共有することが出来た。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の想いや状態を把握し、その人に合ったサービス提供ができるように努める。 ・連絡ノートの活用を継続し、情報共有を行う。 |
| | 2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27) | <ul style="list-style-type: none"> ・多職種との情報の共有はしっかりと出来た。 ・状態の変化などの連絡が遅れてしまう事もあり、迅速に対応できるように改善が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・状態変化などの情報共有が迅速に行えるように体制を整えていく。 ・訪問看護や通所リハビリ、デイサービスの職員などの来館時に積極的に声を掛け、状態や様子を聞くよう心掛けていく。 |
| | 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域へのサービス拡大に向けてのPRが出来なかった。 ・推進会議で頂いた意見などを職員間で共有し、地域に必要なサービスであること再確認することが出来た。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域へのPRを行うために、職員が地域を知ること意識を向け、地域の方と関わりが持てるように意識し行動していく。 |
| III. 結果評価 (評価項目 33～34) | <ul style="list-style-type: none"> ・サービス導入によってサービス計画が充実され、安寧した生活が送れるようサポートを行い、安心感が提供できるように努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人が目標を理解し、達成に向けて意識していくことを心掛け、ケアの質の向上に努めていく。 | |

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します